

令和5年度
(2023年度)

香川大学
看護師の特定行為研修

研修生募集要項

香川大学医学部附属病院 臨床教育研修支援部
特定行為研修センター



香川大学
KAGAWA UNIVERSITY



香川大学医学部附属病院
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

1. 香川大学における特定行為研修の基本理念

チーム医療のキーパーソンである看護師には、高度な臨床実践能力を発揮して患者さんや地域医療をささえる役割、多くの職種をつなげて地域医療をリードする役割が期待されています。

香川大学医学部附属病院は「ささえる・つながる・リードする」という医志をもち、良質で安全な医療を提供するとともに、医学教育を推進し医療の発展に寄与することを理念としています。また当院看護部は「Hand・Head・Heart」を原点に患者さんから信頼される看護を提供することを理念に掲げています。

香川大学の特定行為研修では、急性期医療や在宅医療の現場において、安全・安心かつ高度な臨床実践能力を発揮できる人材を育成します。本研修は看護師自らが社会的責任と役割を自覚し自己研鑽を継続する基盤となるものです。県下唯一の大学病院として、新たな医療の発展に寄与する看護師を養成することで、地域医療の質向上に貢献します。

2. 特定行為研修の目標

- 1) 急性期医療や在宅医療の現場において、迅速かつ包括的な臨床判断を行うために必要な知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
- 2) 急性期医療や在宅医療の現場における、医師又は歯科医師からの手順書による指示に対し、自身による正確な臨床判断を行い、患者の安全に配慮しつつ、特定行為を実践する能力を養う。
- 3) 医学的視点に加え看護学的視点を持合わせた、新たな役割を担う人材として、多職種と協同することでチーム医療を効果的に支援する能力を養う。

3. 研修の特長

- ・ 現場のニーズに合った特定行為が網羅されている領域別パッケージ研修であり、効率よく受講できます。
- ・ 医学部の教員、各学会認定の指導医・専門医資格を有する医師、専門看護師・認定看護師による講義や演習も行っています。
- ・ 講義はe-ラーニングが中心です。インターネットに接続できる環境があれば、パソコン、あるいはスマートフォンやタブレット端末から、いつでも好きな時間に繰り返し受講できます。働きながら履修することが可能です。
- ・ 臨床教育開発棟（スキルラボラトリー）を備えており、高度な医療手技のトレーニング機材が充実しています。
- ・ インターネットの利用できるパソコンを 1 人 1 台ずつ常設した研修生室を完備しています。

4. 開講する領域別パッケージ研修

令和5年度は、在宅・慢性期領域、外科術後病棟管理領域、術中麻酔管理領域の3領域について領域別パッケージ研修を開講します。特定行為区分ごとの開講はありません。

●在宅・慢性期領域パッケージ：定員2名

特定行為区分	特定行為
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正

●外科術後病棟管理領域パッケージ：定員2名

特定行為区分	特定行為
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更
	胸腔ドレーンの抜去
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

● 術中麻酔管理領域パッケージ：定員 2 名

特定行為区分	特定行為
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

5. 研修科目と時間数

研修科目は、特定行為区分に共通して必要とされる基礎的な能力を身につけるための「共通科目」と、各特定行為に必要とされる能力を身につけるための「区分別科目」に大別されます。研修は講義、演習、実習、によって行います。

I 共通科目（必修）：研修期間：6 か月間（予定）

共通科目	時間数
臨床病態生理学	31h
臨床推論	45h
フィジカルアセスメント	45h
臨床薬理学	45h
疾病・臨床病態概論	41h
医療安全学/特定行為実践	45h
合計	252h

* 時間数のうち 165 時間はオンデマンド講義で個別 e-ラーニングとなります。

● 共通科目の修了要件

- ① 科目ごとに e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。
- ② 関連する e-ラーニング講義を履修したのち演習・実習を受講し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- ③ 科目修了試験（筆記試験）に合格することで科目修了となる。

II 区分別科目（必修）：研修期間：6か月間（予定）

区分別科目は共通科目の修了後に履修可能となります。以下の各領域別パッケージに示している時間数に実習に要する時間は含んでいません。各パッケージに該当する特定行為ごとに5症例以上を経験する必要があります。

在宅・慢性期領域パッケージ	時間数
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8h
ろう孔管理関連	16h
創傷管理関連	26h
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	11h
合計	61h

* 時間数のうち 45.5 時間はオンデマンド講義で個別 e-ラーニングとなります。

外科術後病棟管理領域パッケージ	時間数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9h
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	17h
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8h
胸腔ドレーン管理関連	13h
腹腔ドレーン管理関連	8h
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7h
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	8h
創部ドレーン管理関連	6h
動脈血液ガス分析関連	9h
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	11h
術後疼痛管理関連	8h
循環動態に係る薬剤投与関連	16h
合計	120h

* 時間数のうち 97.5 時間はオンデマンド講義で個別 e-ラーニングとなります。

術中麻酔管理領域パッケージ	時間数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9h
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	17h
動脈血液ガス分析関連	13h
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	11h
術後疼痛管理関連	8h
循環動態に係る薬剤投与関連	12h
合計	70h

* 時間数のうち 55 時間はオンデマンド講義で個別 e-ラーニングとなります。

● 区分別科目の修了要件

- ① 科目ごとにe-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。
- ② 演習および学内実習（シミュレーションによる手技練習）は関連するe-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。
- ③ 一部科目では、患者に対する実技実習の前にOSCEに合格する必要がある。
- ④ 上記①および②③の後に筆記試験に合格する。
- ⑤ 筆記試験合格後に患者に対する実技実習を実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすことで科目修了となる。

6. 修了認定

本研修を修了するには、共通科目の修了要件を満たし、続いて区分別科目の修了要件を満たす必要があります。修了認定は特定行為研修管理委員会で審議されます。

- * なお、本研修修了者には、保健師助産師看護師法 第37条の2 第2項 第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、該当する領域パッケージ研修の修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

7. 研修スケジュール（概要：予定）

日程	登校（内容）	備考
4月初旬	入構式・オリエンテーション 共通科目履修開始	※e-ラーニングは個別に受講 ※登校日は
4月～	演習 実習 科目別修了試験（筆記試験）	4月～6月は 各月2～3日間（連続） 7月～9月は 各月3～5日間（連続）
9月中旬～ 10月～	区分別科目履修開始 演習 実習（実技） OSCE（客観的臨床能力試験） 筆記試験 臨地実習（患者に対する実技） ※実習場所は自施設	パッケージにより時間数・日程は異なる ※e-ラーニングは個別に受講 ※登校日は 計10～18日間程度 ※臨地実習は筆記試験を修了した科目から 順次開始、2月末までに終了
3月下旬	修了式	

8. 履修免除について

研修受講希望者が既に「共通科目」や「特定行為区分」を修了している場合、既修得行為履修免除申請書（様式5）に修了証を添えて特定行為研修センターまで提出し履修の免除を申請する必要があります。特定行為研修管理委員会において審議を行い、対応を決定します。

9. 募集定員

- ・ 在宅・慢性期領域パッケージ研修 2名
- ・ 外科術後病棟管理領域パッケージ研修 2名
- ・ 術中麻酔管理領域パッケージ研修 2名

10. 研修期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日（1年間予定）

- * 所定の期間内に修了要件を満たさなかった場合、在籍期間は最大1年間延長することができます。

11. 研修受講資格

次の①から⑤のいずれの要件も満たすことが必要です。

- ① 看護師免許を有すること
- ② 看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
- ③ 所属長の推薦を有すること
- ④ 賠償責任保険に加入していること
- ⑤ 所属施設での臨地実習を行うことができること ※詳細別記

12. 出願手続きに関すること

- 1) 出願期間：令和4年12月1日（木）～令和4年12月28日（水）必着
- 2) 出願提出書類：募集要項および出願書類の各様式は、香川大学特定行為研修センターのホームページ（下記）から必要書類をダウンロードしてご利用ください。

<https://kagawadai-tokutei.jp/>

*提出された書類は返却いたしません。

【出願提出書類】 ※1は該当する者が対象、※2は香川大学に所属していない者が対象。

- ① 志願書（別記様式1）
- ② 履歴書（別記様式2）
- ③ 志願理由書（別記様式3）
- ④ 推薦書（別記様式4）
- ⑤ 既修得行為履修免除申請書（別記様式5）※1
- ⑥ 受講同意書（別記様式6）※2
- ⑦ 実習施設情報（別記様式7）※2

- ⑧ 連絡先（別記様式8）
- ⑨ 看護師免許（写）
- ⑩ 専門看護師、認定看護師などの認定書、看護師特定行為研修修了書、大学院等の学位記（写）※1
- ⑪ 賠償責任保険に加入していることを証明する書類（写）

3) 出願書類提出方法：郵送のみとします。上記の出願書類一式を封入し、封筒表に「特定行為研修受講出願書類在中」と朱書きで明記し、以下の送付先に「簡易書留」にて送付してください。

（送付先）

〒761-0793

香川県木田郡三木町大字池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院

臨床教育研修支援部 特定行為研修センター

4) 受講審査料 10,000 円：上記出願審査書類一式を受理後、本学が発送する請求書に基づき期限までに振り込んでください。振込手数料は志願者の負担となります。一度納めた受講審査料は返還しません。

13. 選考について

- ・ 選考方法：書類選考及び面接
- ・ 面接日時：令和5年1月中旬から下旬 ※詳細は別途通知
- ・ 面接場所：香川大学医学部キャンパス内 ※詳細は別途通知

選考結果については、令和5年3月上旬に本人宛て簡易書留速達にて郵送いたします。電話、FAX、メール等による可否のお問合わせの対応はいたしません。

14. 研修受講手続きと研修受講料について

受講予定者には合格通知書と一緒に受講手続きに必要な書類を送付します。受講手続きおよび受講料納付は指定期間内に提出および振込み願います。納めた受講料は原則として返還しません。

領域別パッケージ研修受講料（共通科目含む）

	受講料(税込)
在宅・慢性期領域パッケージ	476,300 円
外科術後病棟管理領域パッケージ	953,700 円
術中麻酔管理領域パッケージ	651,200 円

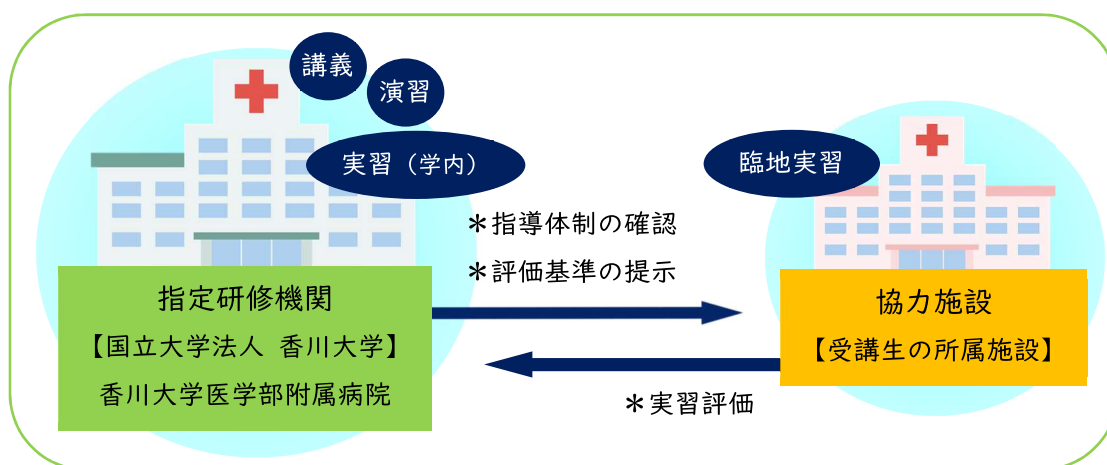
15. 個人情報の取り扱いについて

香川大学では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

16. 所属施設での臨地実習について

特定行為研修を履修し修了するには、患者に対する実技実習（臨地実習）が必須です。臨地実習は受講生自身の所属施設にて行います。香川大学に所属していない方が研修を受講する場合は、受講生の所属施設に「特定行為研修 指定研修機関：国立大学法人香川大学」の協力施設となっていていただく必要があります。

協力施設に関しては、指導者の確保等の要件があります。志願者からの受講出願書類を受理後、必要に応じて香川大学から志願者の所属施設に連絡をさせていただきます。協力施設としての手続きが必要な場合は改めて所属施設にご案内します。不明な場合にはご相談ください。



<協力施設の要件>

*医師の指導者は臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること

看護師の指導者は特定行為研修を修了した看護師やこれに準ずる者（専門看護師、認定看護師及び大学等での教授経験を有する看護師など）

*実習環境の医療安全体制が整備されていること

【お問い合わせ 窓口】

〒761-0793

香川県木田郡三木町大字池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院

臨床教育研修支援部 特定行為研修センター

TEL 087-891-2449

✉ tokutei-m@kagawa-u.ac.jp

交通アクセス



JR 高松駅より

- 車で所要時間 約 30 分
- ことでんバス大学病院線で約 40 分(7 番乗り場：大学病院・ことでん高田駅行き)
- ことでん高松築港駅まで徒歩 5 分
→高松築港駅から高田駅までことでん長尾線で 22～27 分
→高田駅から ことでんバス高松医療センター・大学病院線で 5 分

高松自動車道より

- さぬき三木インターチェンジより車で 約 5 分
(徳島方面からお越しの方は「さぬき三木 IC」で下りてください。「高松東 IC」では下りることが出来ません。)
- 高松東インターチェンジより車で 約 3 分
(高松方面からお越しの方は「高松東 IC」で下りてください。「さぬき三木 IC」では下りることが出来ません。)
- (一部の高速バスが停車) 三木高速バスストップより徒歩 15 分